

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年6月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100013
法人名	社会福祉法人 佳成会
事業所名	グループホームてらやま
所在地	鹿児島市吉野町6, 581-2 (電話) 099-243-8811
自己評価作成日	平成 27年 5月 1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	-----------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年5月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

周りを新緑に囲まれ、鳥のさえずり等のどこかですばらしい景観です。10年目ともなりますと、開設当初からの入所者様も2名になってしまいました。

お2人共、認知症も少し進み車椅子上の生活ですが、なるだけ自分のことは自分でと、頑張っているらしいです。

最近では、若い認知症の方も入所されており、これからの認知症ケアも今までの勉強では追いついていけないように感じています。職員も内外の研修に参加し、各自スキルアップし、資質向上に努めて、他の職種とも連携を図り、入所者様に安心して生活していただけるように、日々増進しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市北部、自然環境に恵まれた閑静な高台の住宅地に建てられている。近くにはホームの名称にもなっている「寺山公園」があり、ホーム周辺は四季を感じながらの散歩やドライブコースに最適である。

法人は母体である特別養護老人ホーム・ディサービス・居宅支援事業所を運営して長年地域の高齢者福祉の一端を担っている。

グループホームは地域密着型サービスとして開設時より町内会に加入し、ホームが孤立することのないように清掃活動や行事に積極的に参加してホームの避難訓練にも地域住民の参加が得られるなど地域と良好な関係が築かれている。

日常のケアも工夫されており、筋力低下を防ぐために居室から遠いトイレへの誘導や個々にできることを見つけ出し徐々に自立に向けた生活が送れるように支援するなど入居時の車椅子使用が杖歩行に改善された利用者もいる。また、排泄も個々の排泄パターンを把握して職員のコマメな声かけや誘導により入居後に改善されており、現在半数の利用者が下着で生活しており、皮膚疾患の改善にも結びついている。

職員の離職が少なく、職員間のコミュニケーションが図られてスムーズな業務が行われ、質の高いサービスの提供に結びついている。家族からも「安心している」との評価が多数得られている。

グループホーム本来の役割である自立に向けた支援に努めて認知症ケアに真摯に取り組んでいるホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼時、グループホームの理念唱和を行い、報告・連絡・相談も唱和し、共有し実践につなげている。	法人の理念と地域密着型サービスとしての意義を踏まえたグループホーム独自の理念を職員全員で話し合って作成し、リビングに掲示している。職員は毎朝唱和して理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の奉仕作業や行事には積極的に参加している。散歩の時など地域住民と挨拶を交わしている。	開設当初より町内会に加入して清掃活動に参加したり、地域の夏祭り・運動会には利用者も参加するなど地域とは良好な関係が築かれている。また、ホームの避難訓練にも地域住民の参加が得られている。毎年、小中学校のサマーボランティアや専門学校生の実習の受け入れも行っており子供たちとの交流もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議を通じて、施設の消防訓練等に参加して頂き、認知症の方々の生活を見てもらい、理解して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	偶数月に町内会長・民生委員等、入所者のご家族や職員が参加し、意見交換を行っている。年間計画を立てて、充実した会が行われ、サービス向上に活かしている。	町内会長・民生委員・薬剤師・家族・行政等の参加で2ヶ月に1回開催している。主な議題は年間計画を作成してあらかじめ参加者に伝えており毎回充実した内容の会議となっている。家族は特定せずに多数の参加が得られるように毎回声掛けをして参加を促している。委員会報告・ホームの状況報告・町内会からのお知らせ・意見交換などが行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護受給者もあり、福祉課からの連絡や定期訪問、病院受診、入退院時の報告・連絡をし、協力関係を築くようにしている。	運営推進会議に出席してもらっており、ホームの実情や取り組みを伝えている。また、利用者それぞれの関係先とも報告や相談などで連携を図っている。毎年、介護相談員の受け入れも行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入所者が自由に出入りできる状態にしている。中庭への出入りも開閉できるようにしており、身体拘束委員会が中心となり、研修で勉強等を行っている。	身体拘束委員会が設置されており、委員会が中心となって3ヶ月ごとに定期的に勉強会を行っている。また、事例が出た場合等は随時検討会議を行っている。日中は玄関の施錠はせずに職員の見守りと連携で安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ケース会議等で高齢者虐待防止委員会が中心となり、勉強会を行っている。 職員の声のかけ方等を見直したり、また外出、外泊時等は特にボディチェックを行ったりと防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ケース会議、職員会議で制度の説明やパンフレット等の閲覧をし、より理解を深め、積極的に研修会に参加し、学ぶ機会を持ち活用できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、重要事項や契約書について十分な説明を行い、わからない所は質問していただき、理解されるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>2ヶ月に1回ある運営推進会議にできるだけご家族様にも出席して、様々な意見をいただき、ご家族様の要望など配慮できるようにしている。</p>	<p>日常の面会時・電話連絡時・年1回の家族会・ホームの行事・運営推進会議等で家族から意見や要望を聞き出すように努めている。他にも無記名のアンケートも実施しており、サービス向上に向けて意見・要望を引き出す工夫が行われている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月あるケース会議や法人全体の会議で、積極的に意見を出し合い、提案を聞く機会を設け、反映させるようにしている。</p>	<p>毎朝の申し送りやノートの活用で職員間の情報の共有を図っている。また、各ユニット会議・合同会議・法人の全体会議と毎月全員参加の話し合いの機会を頻回に設けて職員の意見・提案などが話し合われている。他にも委員会ごとの話し合いも行われている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の希望など聞き、研修等へ行きやすいシフト作りやリフレッシュできるようにシフト見直しを行ったり、各自が向上心を持って働けるよう環境、条件の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の法人全体会議後、管理者による研修を行い、職員の技術向上に努めている。</p> <p>外部の研修など受ける機会の確保や働きながら、それが活かされるように進めている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>吉野地区にある「よかど会」の研修などで職員交流を実施（職員1年未満・2～5年未満）</p> <p>お互いの意見交換を行い、サービス向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>安心できる声かけや寄り添って不安や要望に応え、楽しい笑顔ある関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ホームの案内や行事予定、サービス内容など、家族の要望などに耳を傾けながら信頼関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所前に面談に行ったり、ホームの見学をしていただいたりして必要としているケアプランを作成し、サービスに努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人のペースで出来る事、または援助が必要なところは手伝い、声かけや見守りを行うように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	近況報告を2ヶ月に1回發送したり、行事予定の参加の有無などを聞いたりしながら、面会などでお話したり信頼関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会やご家族との外出・外泊等ができるように努めている。	本人の希望による一時帰宅や墓参り、手紙や電話など家族の協力をもらいながら関係が途切れないように支援している。また、家族や親戚が訪ねやすいように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者同士のトラブルがないようにスタッフが間に入ったり、話をしたり、声かけを行い、レクなどを利用者を交えて行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院や特養に行かれても、時にはその場に出向いた際にはお話をしたり相談にのったり努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりに応じた唄や読書、買い物などをして頂き、本人のペースで安心した生活を過ごしていただけるように、一人ひとり検討している。	日常の会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合は表情・言動・家族や関係者からの情報などから本人本位に検討している。また、話を聞くことで本人が落ち着くことも多く、入浴時や居室で対一の場面を作って傾聴に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族様にこれまでの生活状態やどのような馴染みの暮らし方をされていたか、またどのようなサービス利用を受けてこられたかなどの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりその日の心身状態やできることは何かを見極めて、自分のペースで過ごしていただいたり、軽体操やレクレーションへの声かけを行うようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のケース会議やモニタリングを通して、職員の意見交換を行い、ご本人様がより良く生活ができるように、また今の状態に合ったケアプランを作成している。	入居時に本人・家族の意向や希望を聞いて本人本位の介護計画を作成している。こまめなモニタリングや気づきノートの活用で常に現状に合った介護計画となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人台帳や気づきノートに状況の変化を記録に残し、報告・連絡・相談を行い、情報を共有しながら実践やケアプランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様の状況変化時、その時々ニーズに対応して、今までのサービスにとらわれず、多機能のサービスに取り組むようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方々の参加を得て行われる防災訓練や行事へのボランティアを受け、入所者様一人ひとりが安全で豊かな暮らしを楽しめるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による定期往診や皮膚科、眼科等の他科受診の際、ご家族様へ連絡。職員による受診で適切な医療を受けられるように支援している。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力病院の定期的な往診と看護師の配置により密な健康管理が行われている。他科受診についても本人・家族の状況に応じてホームから同行している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	職員は入所者の状態や状況の変化や気づいた事を職場の看護師に報告、連絡、相談し、病院受診など職場の看護師と連携し行うことができている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院の際は、情報提供を行い、面会等によるご本人様の状態確認をしたり、担当医療従事者に現状を聞いたりと情報交換に努め、病院関係者との関係作りを行い、早期に退院できるように努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化や終末期に向けた指針を、入所時にご家族様へ説明し同意を得ている。しかし「まだ早いのでは」とおっしゃるご家族様もおり、もしそのような状況になるようであれば、早めにご本人様の状況をその都度ご家族様と話し合い、ホームで出来る事を職員とも話し支援に取り組んでいく	重度化や終末期に向けたホームの指針を作成し、入居時に説明して家族の希望も聞いている。入居後は本人の身体状況に伴って主治医と家族が話し合い、方向性を共有してホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	マニュアルに沿って初期対応や応急手当の訓練を定期的に行い、内部研修や外部研修に参加し、実践力を身に付けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災訓練時の対応は、定期的な訓練を行い身につけている。また、訓練に地域の方も参加して頂き行うことができている。</p> <p>ただ、地震が発生した場合、夜間等は慌てるのではと思うと、訓練を確実にやり、入所様様が避難できる方法を身につけていかねばと思う。</p>	<p>年2回の消防訓練とさまざまな場面を想定したホーム独自の自主訓練をときには地域住民を交えて3ヶ月ごとに行っている。スプリンクラーは設置されており、夜間帯に近隣にも気づいてもらえるようにと非常時のサイレンと拡声器も備え付けている。備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格を把握し、本人の嫌がる声かけや対応をしないようスタッフ同士で確認し対応している。	個々の性格やこれまでの生活歴を把握して声掛けなど配慮しながら対応している。特に排泄確認など羞恥心に配慮しながら馴れ合いの言葉使いにならないように注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	解りやすい説明、自己決定できるような声かけを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できるだけその方のペースに合わせているが、日によってはこちら側の都合になる時がある。 しかし、一人ひとりのペースがあるので、その日をどのように過ごしたいか希望に沿えるように支援していく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴や更衣する際は、洋服を選んで頂いたり、職員と一緒に選んだりしている。また2ヶ月に一度の訪問カットや爪きり等の援助も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事のメニューは全員同じものを提供しているが、その方に合った量、形状にしている。片付けや準備は負担にならないよう出来る方にして頂いている。	法人の管理栄養士が作成した献立となっており、栄養バランスのいい食事で入居後に体質が改善された利用者もいる。調理手伝いや片付け、洗い物などできることは職員とともに行っている。外食に出かけたりお弁当持参でドライブに出かけたりと「食」が楽しめるように趣向を凝らしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	月初めに水分チェックをし、一人ひとり把握している。法人の管理栄養士による献立に基づき、調理を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声かけし自分で行っていただき、介助が必要な方はその方に応じた口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンの把握に努めている。一部介助が必要な方は声かけやトイレ誘導を行い、ズボンの上げ下ろしなど出来る所はして頂いている。	排泄チェック表を作成して個々の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄を支援している。入居後に改善された利用者も多く、現在半数の利用者が下着で生活しており、皮膚疾患が改善された利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品や果物、野菜等を提供するように心がけており、体操や散歩の声かけを行っている。また、どうしても排便困難な方は医師の指示に従って下剤服用も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回の入浴日になっているが、その方の体調を見て、臨機応変に対応している。入浴が出来ない時は更衣や足浴、手浴も行っている。希望の方は毎日でも入浴できる支援もしている。	在宅時の生活を考慮して基本は週2回午後からの入浴となっているが、本人の希望に応じて毎日や朝でも可能で個々に応じた入浴の支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でもお昼寝したい方は居室で自由に休んで頂いているが、出来るだけ日光浴をしたりと昼間の活動に心がけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の状態に応じて看護師と相談し、服薬介助である職員は一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事を立案し実施している。朝の掃除や食器洗い、洗濯物たたみ、テーブル拭き等の声かけを行い、手伝っていただいている。また終わった時は感謝の気持ちを伝えるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外に出られる方は職員と一緒に近隣へ散歩に出かけたり、買い物に同行してもらったりと状態をみながら出かける事の声かけをしている。またご家族様との外出外泊が出来るよう支援している。	日常的にホーム周辺の散歩や買い物同行、お弁当やお菓子を持ってドライブなどに出かけている。また、外食に出かけたり、地域行事(夏祭り・運動会)や母体施設の行事見学、吉野公園、季節の花見などにも出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族の協力を得て、小額のお金を持っている人がいる。また預り金がある方は欲しい物や外食で使えるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>要望があれば職員が電話をし、話ができるようにしている。掛かってきた際も本人に取り次ぎできるようにしている。また、年賀状を出したりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂や居間、台所がワンフロアになっていて、キッチン是对面式で開放感があり、調理をしながら入所者様への声かけもできている。また中庭にベンチがあり、外気浴などを楽しんで頂けるようにしている。花壇には花、狭いながらも畑もあり、今年にはナスやキュウリ等を植え、季節感を感じられるようにしてある。</p>	<p>共用空間は広くリビングから直接中庭に出られるので開放感がある。キッチンのカウンターが対面式で見守りがしやすく利用者も手伝いやすい。また、食事の準備の光景は生活感を得られ五感を刺激してくれる。安全面を配慮して床はクッション性のある材質を使用している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビの前にはテーブルが設置。自分の席に座り、テレビを見ながら談笑されている。また自室にて過ごしたい方はそれなりの配慮を行い、気の合う同士となる席の配置には工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には、本人の思い出の写真を飾ったり、花を飾ったり、心地よい工夫に努めている。	タンス・テレビ・仏壇・寝具などが持ち込まれ居心地よく過ごせるように配慮されている。各居室掃き出し窓で開放感がある造りとなっている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	手すりやトイレには支援バーを設置し、居室、トイレなどもわかるように工夫し、自立した生活ができるように工夫している。また、ご家族様の同意を得て、ドアに名前を貼っていらっしゃる方もいる。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない